

製品名: PERK ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21506**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:125kD;Observed MW:140kD

抗原情報

遺伝子名	PERK
別名	EIF2AK3;PEK;PERK;Eukaryotic translation initiation factor 2-alpha kinase 3;PRKR-like endoplasmic reticulum kinase;Pancreatic eIF2-alpha kinase;HsPEK
遺伝子 ID	9451.0
SwissProt ID	Q9NZJ5
免疫原	ヒト PERK の組み換えタンパク質

背景

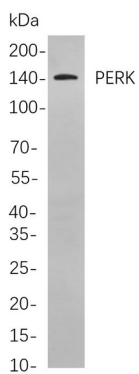
細胞局在: 小胞体膜。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、真核生物翻訳開始因子 2 の α サブユニットをリン酸化して不

活性化し、その結果、翻訳開始が急速に減少し、全体的なタンパク質合成が抑制される。このタンパク質はミトコンドリア機能を調節すると考えられている。小胞体（ER）に位置するI型膜タンパク質であり、異常折り畳みタンパク質によって引き起こされるERストレスによって誘導される。この遺伝子の変異は、ウォルコット・ラリソン症候群と関連している。[RefSeq 提供、2015年9月]

研究分野

-

画像データ



PERK ウサギ mAb を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。